



鐵輪 宮崎精鋼株式会社 名古屋市中川区丸米町一丁目1番地 ☎052-361-2191 平成29年2月号

社長 年頭挨拶

1月6日(金)、本社食堂にて社長が年頭の挨拶をされました。要旨は以下の通りです。

みなさん、あけましておめでとうございます。今年の冬休みは天気がよくて暖かく、皆さんもよいお正月を迎えられたかなと思います。

去年は自然災害の多い一年でした。特に4月には熊本で震災があり、早く復興することを願っています。政治経済面では、トランプ氏の大統領当選、EUの離脱と、どちらも自国の利益を最優先にしようとする行為で、悪いことだとは思いませんが、今までの約束を反故にするような行動も見られ、あまりリーダーらしくないと感じます。そんな中、日本の株価は戻ってきています。為替は円安が進んでおり、一時は逆に円高になるかと思いましたが、予想もしない良い方向へ動いています。今のところ、ありがたい状況にはなっていますが、先の見えない不安な状態でもあります。



社長年頭挨拶の様子

宮崎精鋼にとっては、去年はCGF80のスタートの年となりました。経営者の直近の大きな課題として、【I.長期を見据えたビジョンと中期計画の作成】 【II.人材の確保と育成】 【III.海外事業展開】が挙げられております。CGF80で挙げた5つの項目を振り返ってみると、【①これまでの投資効果の最大化と高水準な設備投資の継続】 【②新技術、新商品の開発】 【③メキシコ事業の成功に向けた取組み】 【④人材の採用と教育研修の充実】 【⑤関連会社との連携】といったように、先ほどの3つの項目も含まれています。やはりどの経営者もこれからすべきことは同じなんだと感じます。

CGF80が去年の6月から始まり、7カ月が経ちましたが、非常にいい滑り出しができ、むしろ当初の計画を上方修正しようか、という状況で、嬉しく思います。メキシコプロジェクトについては、これまで使っていた設備を再利用するなどして設備投資を最小限にしているので、今のところ大きな被害もなく順調に進んでいます。また、関連会社とのシナジー効果について、まずMECについては新しく事務所兼工場も建ち、いよいよ独立した会社としての形がスタートしました。東洋精鋼も、タイにつづいてアメリカにも一昨年から進出しております。バイアメリカン政策により、アメリカ国内で製造しないと製品を買ってもらえないのですが、いよいよ今年から生産をスタートするので、航空機のアメリカでの新しい市場開拓が期待されています。交邦磨棒鋼センターも、タイのマーケットをリサーチしていて、今後の展開を検討しています。このように、関連会社も含めて真剣に海外展開に取り組んでいます。日本国内のマーケットはますます小さくなってしまいますので、全体を俯瞰し広い視野をもって海外展開をするのが重要だと思います。

今年は新しい宮崎精鋼を作るんだ、という心構えをもって今年一年取り組んでいきましょう。安全、品質に気を付けてより良い製品を作り、新しい宮崎精鋼への第一歩として頑張ってくださいと思います。

